



“地域に親しまれる医院を目指して”

医療法人永陽会 辻眼科クリニック 様

- 創立：平成21年5月
- 住所：鹿児島県鹿児島市和田3丁目28番18号
- TEL：099-268-3000

お客様訪問

No.38

鹿児島県鹿児島市にある辻眼科クリニック様。白を基調とした造りで、まるで南国のリゾートホテルの様な印象です。明るく、清潔な院内からは「患者様にリラックスして治療を受けていただける様に」との心遣いを感じます。今回は、理事長である、辻正敏様よりお話を伺いました。

■ 辻眼科クリニック様の特色を教えてください。

当院は地域の方々に親しまれる眼科クリニックとして、外来診察から手術まで幅広い治療に対応出来るよう努めています。

■ お客様に対して、どんな点に気を配っていらっしゃいますか？

誠実・奉仕・笑顔を理念とし、患者様の病状をしっかりと把握し、病気の治療・回復に向け、共に歩む医療をスタッフ一同取り



▲理事長の辻正敏様

組んでいます。視力の弱い方に配慮し、バリアフリーとなっています。

■ トイレに関して気をつけている点や、工夫している点をお教えてください。

来院された方が快適な時間を過ごせるように、トイレ内に生花を飾り、安らぎを提供しています。衛生的なトイレを目指し、手で触れることなく開閉できる、アメニティのセンサー式ゴミ箱を

活用しています。

■ アメニティを導入した理由と、導入して良かった点を教えてください。

トイレは病院の顔であり、きれいなトイレでないと良い治療は出来ません。トイレの専門業者であるアメニティの定期診断管理サービスを導入することで、職員の意識改革を実現しました。今では最も美しく快適な空間となっています。

■ 最後に担当（ショップ）へ一言お願いします

いつもトイレをきれいに保っていただき、ありがとうございます。森さんには様々なアドバイスを伺い、工夫をしていただきました。感謝を込めてこれからも宜しくお願いします。



▲トイレにも生花を飾り華やかに

☆ 私が担当しています! ☆

SHOP

アメニティ鹿児島 鹿児島県鹿児島市

森広一郎(もり こういちろう)さん

トイレ診断士 ID: 10-0206-0271

辻眼科クリニック様の建物自体がお洒落な洋風建築になっており、トイレルームの雰囲気も、白を基調としたリラックスできる空間になっています。今後もこの状態を維持する為に頑張っていきますので、何卒宜しくお願い致します。

トイレ診断士 芸人

第1回

佐藤満春のトイレな話

シーズン2

I LOVE TOILET! I LOVE TOILET! I LOVE TOILET!

こんにちは 名誉トイレ診断士です

皆様、ご無沙汰しておりました! 歌わないトイレの神様こと、トイレ大好き芸人の佐藤満春です。2年ぶりにコラムに再登場させていただくことになりました! 実はこの度、わたくし、「名誉トイレ診断士」として認定され、活動していくこととなりました。

トイレ診断士はアメニティネットワークに加盟し、1年以上の実務経験が無いと取得できない資格です。普段、お笑い芸人として活動をする私には絶対に取れないと、半ば諦めておりました。しかしながら、僕は僕の立場でトイレ活動を続けていくしかありません。お笑い芸人という立場でトイレをエンターテインメントに昇華し、トイレや排泄の大切さを語っていくのは僕にしかできないことです。毎月開催しているトイレのライブ、そしてラジオ日本で絶賛放送中の

ラジオ番組「佐藤満春 in 休憩室」などで、トイレ診断士の皆さんにお世話になりつつ、各メディアでトイレの素晴らしさやトイレを綺麗にする技術を伝えておりました。そんな中…僕のトイレ仲間である株式会社アメニティの山戸伸孝社長にご相談する機会があり「トイレ診断士」にはなれないけれど、「トイレ診断士」と同じ気持ちでトイレの啓発活動をしていく同志として「名誉トイレ診断士」の資格をいただけることとなったのです。そしてこちらのコラムもシーズン2として、また皆様のお目にかかることとなりました。

僕の大きな目標の一つに「小学生（男子）が学校で気持ちよくうんちができる文化を作ること」というものがあります。小学生男子は「学校でうんちをする」といじめられるため、学校では

うんちをせずに家で我慢している」という子がとても多いのが現状です。そこに対して、僕がどういったアプローチをしているのか、次回以降、お伝えしていこうと思います。

では、また次回お会いしましょう。ジャー。

※「佐藤満春in休憩室」はラジオ日本(AM1422kHz)で毎週土曜日27時30分から絶賛放送中。



編集後記

トイレ芸人の佐藤満春さんが「名誉トイレ診断士」になってコラムに再登場です! 佐藤さんがどんな「トイレ活動」をしていくのか楽しみですね。さて、今年も9月11～13日に厚生労働省認定 社内検定 トイレ診断士の講義・試験が行われます。1年に一度しかないチャンスですので、毎年、受験者はかなり緊張します。もし、このかわや版を届けているサービスマンがトイレ診断士受験者だったら…是非励ましのお言葉を! (セルベッチオ中嶋)

information!

動画共有サイトYouTubeに、株式会社アメニティの公式チャンネルを開設いたしました! CMや関連動画などをアップしていきますので、ぜひご覧ください!

※YouTubeで「株式会社アメニティ公式」と検索してください。



http://www.amenity-network.net/
Amenity Network

【発行所】株式会社アメニティ
〒221-0863 横浜市中区羽沢町685
TEL: 045-371-7676(代) FAX: 045-371-7717
Copyright © 2015 AMENITY INC. All rights reserved

トイレを楽しくする新聞
かわや版
KAWAYABAN

2015 秋号
Vol.57

特集

おおいた

トイレをアートに!
おおいたトイレナーレに潜入!

この夏、世界でも他に例を見ないトイレのアートフェスティバル「おおいたトイレナーレ 2015」が大分市の中心市街地のトイレを舞台に開催されています。この一見奇妙なフェスティバルをかわや版編集室が見逃すはずがありません! その実態とはいかに?!

トイレナーレって何?

街中に突然出現した巨大なピンクのデコレーションケーキ。実はこれ、公衆トイレなんです。「トイレナーレ」とは「トイレ」と、3年に1度の国際美術展を表す「トリエンナーレ」を掛け合わせた造語。人々の生活に無くてはならない「トイレ」と、心を豊かに育む「アート」が融合したときにいったい何が起るのか? そんな問いを投げかけるこのイベント。コンセプトは《ひらく》。7月18日から9月23日までの会期中には、街中の商業施設や公共トイレなどを含む13のアート作品がお客様をお迎えする他、ワークショップやライブ、演劇公演、パフォーマンスなど、多彩なイベントが毎週末開催されます。

トイレナーレ開催の背景とは?

別府や湯布院などで知名度の高い大分県。しかし、市内の中心部には、なかなか外からの人が来てもらえないという実態もありました。今年オープンした大分県立美術館『OPAM(オーパム)』や、新しい駅ビル『JR おおいたシティ』とあわせて、「大分市中心部にも訪れていただき、街の魅力を発見してもらいたい」と話すのは、おおいたトイレナーレ実行委員会事務局の河野圭佑さん。当初、大分市では「アートを生かした街づくり」という話が出そうですが、商店街の方々からは「アートよりもトイレをきれいにしてほしい」という声が数多く上がったとのこと。そこで、アートとトイレを融合させたイベントの企画が持ち上がったそうです。イベント開催に先立ち、昨年からの毎月1回、白衣を着てトイレを清掃するアートパフォーマンス「大分圏清掃整理促進運動」を行っていて、「トイレ清掃」までも「アート」に昇華さ



▲公衆トイレが巨大なスイーツに変身
西山 美奈コ・堂原美希・春名祐麻の3名のアーティストによる「メルティングドリーム」(ふないアクアパーク)
photo: yasunori takeuchi

せているようでした。

コンセプトの《ひらく》が意味するところは…。

トイレとアートという、まったく関係のない、むしろ両極端な位置にあるものを組み合わせて街の活性化を図り、トイレもきれいに。また、美術館のように、鑑賞のために訪れた人だけが作品を観る事ができるのではなく、たまたまトイレを利用した人も作品を

体感することができるというところも画期的だと思いました。一連のイベントで、アート関係者からの問い合わせが多数あり、遠方からの訪問者も多くなっているということです。街をひらく、トイレにひらく、アートをひらく…。そこにはきっとおおいたトイレナーレ 2015 に訪れた人がそれぞれに感じる《ひらく》があることでしょ。

おおいたトイレナーレ
体感レポート!

厚生労働省認定 社内検定 1級トイレ診断士
古川屋 直士(ふるかわや なおし)

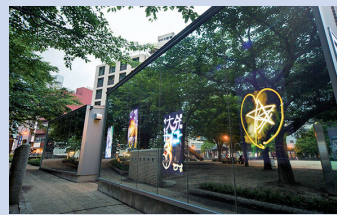
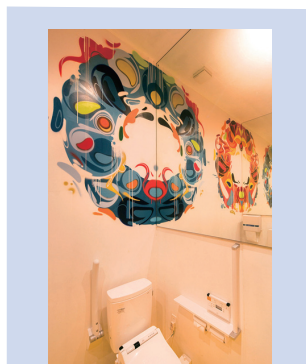
今回、何と言ってもインパクトがあったのが「ふないアクアパーク」という公園にあるかわいいスイーツのような公衆トイレ。(上の写真) 何かすごい可愛い!! トイレに行きたくなくても入ってみたくなるトイレです。トイレの中にもおとぎの国のようなとても可愛い装飾が施されていました。

他にも、8階建ての商業施設、大分フォーラスのトイレでは「現代美術史講座 現代アートはどこからきたのか」という作品が公開されていました。大便器の目の前の液晶画面には動画が流れていて、腰掛けるとセンサが反応し

て講義の音が聞こえてきます。動画の時間は90分あった為、さすがに全部は観ることができませんでした(笑)。作品は街中に点在しているため、ガイドマップを片手に作品を観ながら自然と街を散策しているようでした。今回は時間帯が合わずに観ることのできない作品もあったので、また改めて行ってみたいと思います。皆さんも是非行ってみてください!! それでは!!



▲現代美術史講座



▲おおいたトイレナーレ2015出展作品 photo: yasunori takeuchi

文献に学ぶ「トイレ文化」



このコーナーでは、「トイレ文化」に注目し、トイレに関する興味深い文献をご紹介します。

第16回

絵解き世界の面白トイレ事情

プロローグ 2



現代のトイレ旅行事情

さて現代に目を向けて見るとしよう。

海外旅行をする人が一番苦勞をするのは言葉、二番目はトイレのこと。

このトイレについては、男女で違いもあるだろうが、女性の方が苦勞の度合いが大きい。内容については、本文に絵とき等で詳述するが、「郷に入っては郷に従え…」であまり驚いてばかりもいられない。なにしろ待ったなしの行為なのだから。

本当に現地に行ってみないと分からないことがたくさんあるので、出たところで勝負するしかない。

●処方武器①～ポケットティッシュ

駅前などで貰ったポケットティッシュを溜めまくり、一日二個の割合で用意する。但し、お腹をこわした時の用



心に多目に持参すること。トイレットペーパーのない国だったら悲惨きわまりないのである。

●武器②～ウェットティッシュ

どこでどう汚すか分からないので、衛生の上でも、事後には必ず手を拭くこと。文明国の都市部はいざ知らず、発展途上国方面では特に気を付ける。

●武器③～トイレ便座シート

これは、便座にどんな強力バイキンが付いているか全く不明なので、座らぬ紙に祟りなしの例えどおり、座らないで中腰で用を足すのが一番良いようだが、どうしても座らざるを得ない人、ヒザや腰の痛い人などは、衛生上の面からも便座シートをぜひ使用するように。

●武器④～懐中電灯

個人旅行の場合、ぜひ付加するもの。アジアでもオセアニアでも夜間は真っ暗な所も多い。屋外にトイレのある国は意外に多いので、夜間はこれを持ってヒソヒソと歩く。何が飛び出してくるか分からないのですぞー。

各国トイレットペーパー事情

同じく本文に詳述してあるが、おしなべて30年前も現在も、トイレ用紙

は紙の改善が殆ど見られない。茶色く硬く、分厚く、トイレ用紙はこれいいのだ、どうだ!といわんばかりの紙質で、これに関しては、日本の紙はありがたいばかりに柔らかく白く、世界一、と誇れるものである。もっとも戦争中は紙がなく新聞紙でお尻を拭いて、お尻が真っ黒になった時代もあったのだから、あんまりイバルこともできないが…。しかし、新聞紙時代から、気が付いたら白いチリ紙を経て、水洗時代に入り、あっという間に真っ白でふわふわの香水入りロールペーパー時代に入ったのだから、進歩賞くらいは貰えるか。

石油ショック時のロールペーパーの買い占め事件は、確かに新聞紙時代の悪夢を思い出した御婦人方が動いたのに違いない!?

海外旅行でのトイレについて

【ツアーで使うホテルのトイレ】

世界各国のホテルではそれなりに神経を使って手入れも行き届いているから、各部屋内では便座シートも不要。どっかり腰を落ち着けて用を足すのもOK!ただし、ロビー等の共用トイレでは便座シートを使用した方が無難。日本でも同じこと。

また、北欧系の背高人種と日本人では、足の長さが違うので、小便器も背が高く日本の男性諸君は困ることが多い。女性用便座も高くて足がブラブラすることもある。そそっかしいご婦人が便座が高くて用を足せず、便座を上げて座ったところ便器にすっぽり落っこって大騒ぎになったという話も洩れ受けたまわる…。

バスツアーの場合、ガイドさんがトイレ休憩を宣言してくれるが、日本人はどこでもすぐ連れて下車して長蛇

の列。ああ、これがいやだ。入ってから、ああたいて出なかった!と思う人も多いに違いない。「トイレ休憩」といわないで、ただ「休憩」といえば、トイレに行く人も半減するのでは、と考える次第。

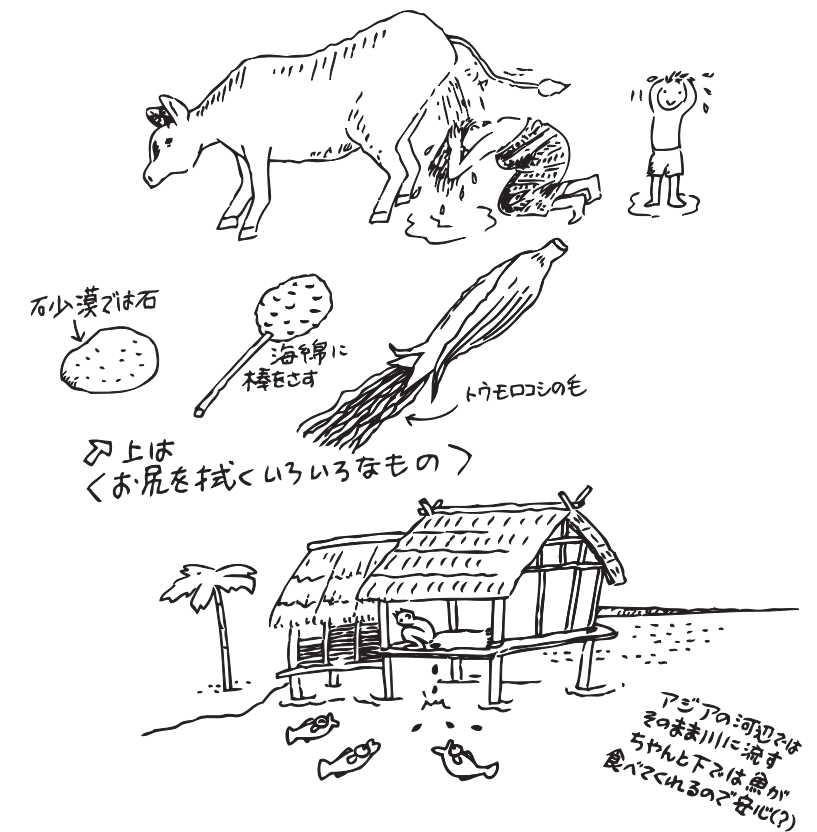
確かに、外国人観光客が長蛇の列というのをあまり見たことがない。膀胱のキャパシティあたり、身体の構造が違うのであろうか。

【個人旅行で使うトイレ】

何処の国に行くかで、処方箋も違う。必ず前述の武器1・2・3・4を持参すれば先ず安心。

イスラムの国では、水洗式ではないトイレには水差しが置いてあり、それで流したり、お尻を洗ったりする。必ず左手(不浄の手)で始末する。中には水差しの水を飲んだという人もいるが、飲んではいけない。

インドでも右手は食事の手といわれて、なぜなのか意味不明であったが、左手はお尻を拭くための手といわれて理解した次第。でも左利きの人は左が清浄であると思いたいのに何故?と、自由世界の左利き族は考えるであろう。これは「郷に入っては郷に従え」の例えに従う。



アフリカの砂漠で快通し、石でお尻をふくとか、フンコロガシが食べるとか海綿でお尻をふく、豚のエサにするなど、数限りない話がある。水のないアフリカ奥地では、牛の小便で頭を洗い、顔も洗い、はたまた眼まで洗う世界もある。

中国は広い、ホンコンまで続く。大都会のホテルは西欧化されていて心配ないが、奥地まで行けば、色々なトイレに遭遇して、あなたは益々たくましい旅人になって帰国するであろう。

アジアの川辺ではボッチャン式でそのまま川に流す、それを魚が食べる。その肥った魚を人間が捕る、という具合に、世界はすべて輪廻で動き、地球は生きてゆく。

アメリカ中部のコーン地帯では、トウモロコシの毛でお尻をふいていた。それが当たり前だった質素な世界。

さあ、あなたは何処の国のどんなトイレに遭遇するであろうか。

体験談を伺いたいー。

ぜひご一報をー。



【出典】 絵解き世界のおもしろトイレ事情 (14頁～19頁)より転載
発行所: 日地出版
著者: 西岡秀雄
発行: 平成10年10月